

(株)ユザワ新本社兼ショールーム着工 夏頃の竣工、11月に完成見学会を目指す

(株)ユザワ(湯澤隆司社長)は、大安吉日の1月24日、栃木県日光市瀬尾350-1にて新本社社屋の地鎮祭を挙げる。外構部の工事も着工された。今後、3月下旬に上棟式、夏頃の竣工、11月に完成見学会、年末にかけての移転営業開始を目指し準備を進めていくという。

今回の新本社建設は、業績拡大する中、現在の本社が手狭になって来たことから、創業38年目にして計画されたもので、県道に面した湯澤家の先祖伝来の土地(3000平米)に建てられる予定で、農地の用地転換など諸々の手続きに1年を要したとのことだが、敷地内に残る地域の守神である古い松の木と馬頭観音(史跡)も活かし、環境に優しいオフィスづくりを進めていく計画で、社屋(350平米)も木造軸組構法が特徴の積水ハウスの「シャーウッド」で建設される。

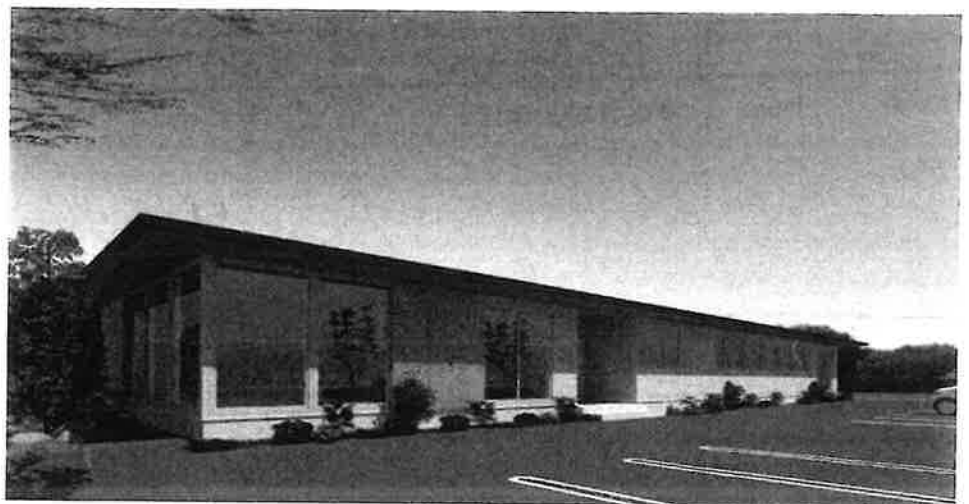
デザイン的には、“地産地装”を第一に、日光連山から景色のいい石を運び、出入口に設置するほか、社



地鎮祭の様子

屋のエントランスにも栃木県の名産である大谷石を飾り、ライトアップする予定。

また、応接室を兼ねたショールームは、カーテン・壁紙などインテリアエレメントではなく、住空間全体を提案出来るよう、生活シーンを想定した設えとしていく。



新社屋のイメージ

もともとは農地で、用地転換の手続きから設計まで準備に1年を要したとのこと。社屋には周辺の環境を生かし、積水ハウスの「シャーウッド」を選んだという